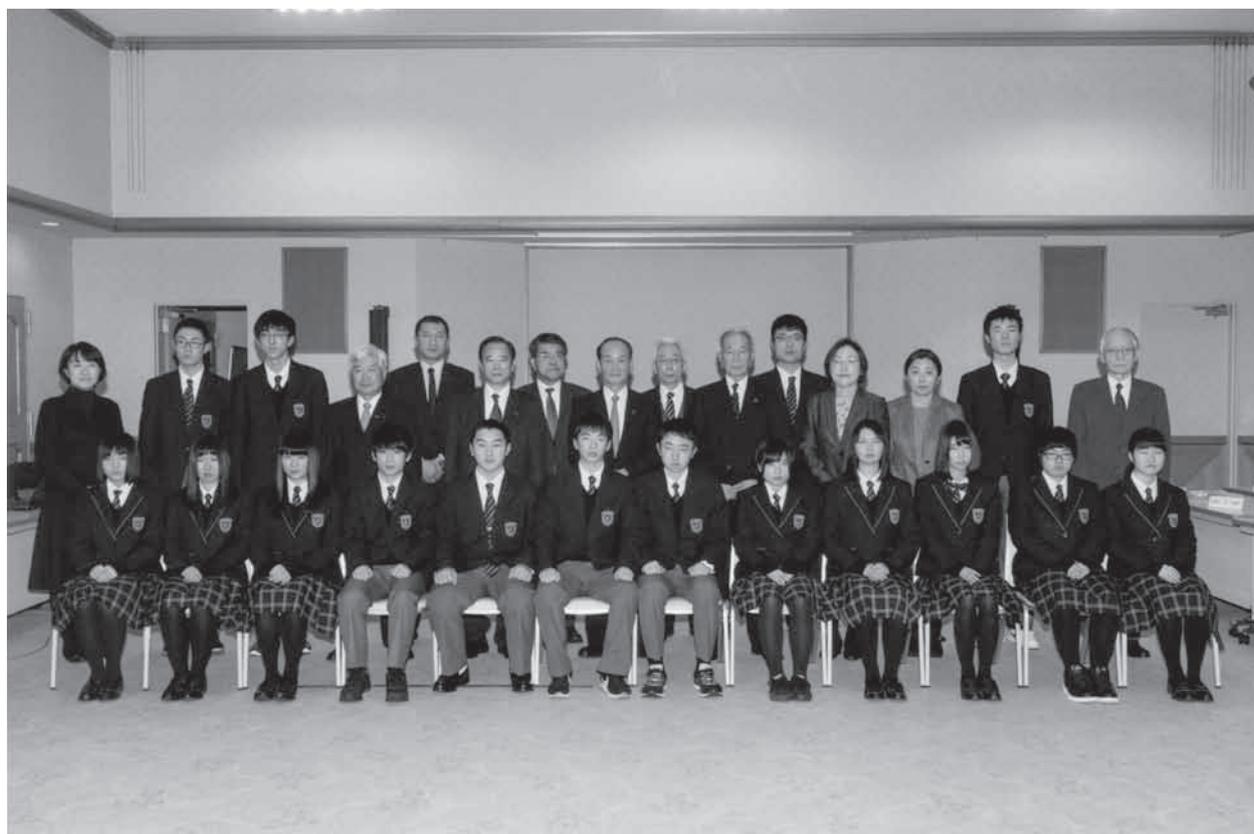


# 八戸工業大学第二高等学校

「激動の時代を青森県でいかに生きるか！？  
～一次産業青森ビッグバン～」



平成29年度高校生模擬議会 八戸工業大学第二高等学校 平成30年2月8日(木)



1

まずはこちらをご覧ください。これはアップルパイです。このアップルパイがどのようにして作られたのか、動画を作ってきたので、それをご覧ください。

～動画放映～

この動画のように、私たちが手作りにしたのはこのアップルパイです。よかったら誰か召し上がっていただけませんか。ありがとうございます。

皆さんの中では、この青森県産のリンゴを使ったアップルパイで地域活性化を考えているかも、と思った方もいらっしゃるかもしれませんが、少し違います。その違いを今から説明します。(1)



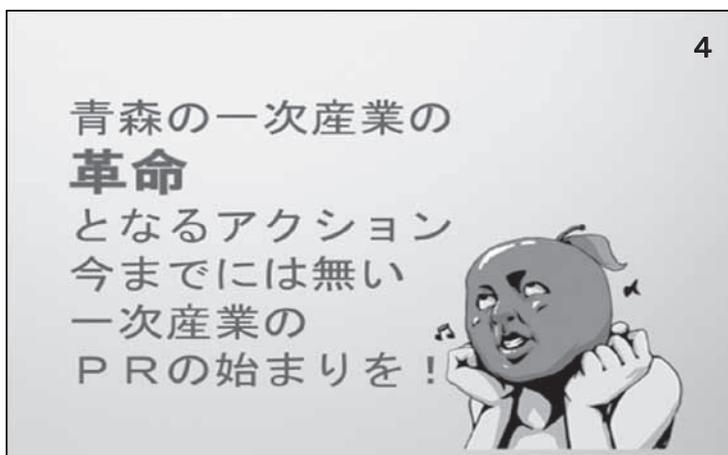
2

まずはアクション名です。(2)



3

その名も「一次産業 青森ビッグバン!!」です。(3)



4

ビッグバンは、元々宇宙の始まりを意味していますが、私たちが意識したのは金融ビッグバンなどで使われる新しい試みや、今までやったことのない取り組みです。この青森ビッグバンは一次産業のPRとしてのアクションです。(4)



5

アクションの背景です。(5)

## 2 アクションの背景



6

### 青森県は一次産業が盛ん

アクションを考える上で、私たちは様々な地域、職業の方々とワークショップを行いました。そして大人の方々に意見を聞いてきました。それに共通していたのは、青森には美味しいものがたくさんある、つまり一次産業が盛んということでした。(6)



7

・特産品は？ → りんご、にんにく…

区分	順位	収穫量	全国シェア	備考
りんご	第1位	367,600t	56.1%	H23
にんにく	第1位	13,400t	68.0%	H22
ごぼう	第1位	52,700t	32.7%	H22
ながいも	第2位	58,600t	40.4%	H22
だいこん	第3位	125,900t	8.4%	H22
かぶ	第3位	8,280t	5.7%	H22
西洋なし	第3位	1,710t	6.4%	H23

こちらのデータを見てください。少し古いものもありますが、青森県は全国的に見ても一次産業が盛んであることが分かります。(7)



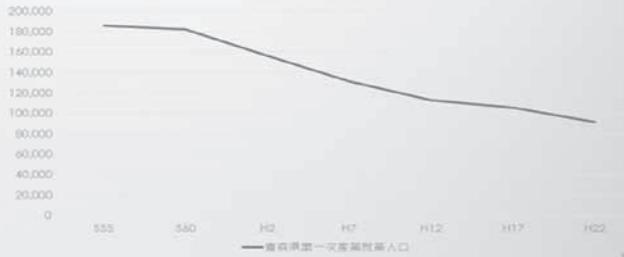
8

しかし…

9

## 一次産業の就業人口は減ってきている

青森県第一次産業就業人口



しかし、一次産業の就業人口は年々減ってきています。(8) (9)

10

TPP発効により安価な農産物が  
日本に輸入される



県の農産物も海外産に  
取って代わられてしまう可能性が大！

さらにTPPの発効により安い農産物が日本にもっと入って来ることが予測されます。そうすると青森県の農産物が外国産の安い農産物に負けてしまう危険性があります。そうなれば、青森県の一次産業はどんどん衰退していきます。(10)

11

しかし  
逆手にとって

しかし、これは逆にチャンスと捉えることはできないでしょうか。青森県の産業を見直すチャンスです。まず青森県の第一次産業の人口が減っていることの原因の1つとして、若者が青森県の一次産業を知らないということが挙げられると思います。実際、私たちも青森県の一次産品と言えば、りんごやにんにく、マグロなどしか思い浮かず、他にも大根や洋なしなどの生産量が多いことは全く知りませんでした。(11) (12)

12

県の一次産品を  
見直す機会に！

13

まず青森県民が  
県産品の知識を持ち、  
県産品に誇りを持つことが必要  
では？

そこで、まず私たち青森県民が地元の特産品について知る、そして農家や漁師の皆様の苦勞を知る。そうすることで青森県に対して誇りを持つということが大切であると考えました。(13)

14

誇りを持つことによって、  
地元の食べ物に自信を持てる  
↓  
地元の食べ物を積極的に選ぶ

そうすれば、もし将来的に海外の安い生産物が入ってきても、誇りを持って青森県産品を選ぶことができる。それに、もし将来、県外に出た場合も、青森県産品を選ぶようになってくれると考えました。(14)

15

青森県の若者が  
青森の一次産業を理解し  
誇りを持つために  
↓  
高校生向け  
一次産業PRアクションを！

そこで私たちが提案するのは、「高校生向け一次産業PRアクション」です。(15)

16

### 3 アクションの目的

次はアクションの目的です。(16)

17

青森県産品を  
守る気持ちを持つこと

このアクションでは、青森県産品を県民が守るという気持ちを持ち、県民自ら県産品を選ぶことを目的にします。(17) (18)

18

そして青森県産品を  
選んでもらう

19

青森県民であることや  
青森県産品に対して  
誇りを持つ！

一次産業で働く人も増えるかも

長い目で見れば、一次産業従事者の増加につながるかもしれません。(19)

20

4 アクションの概要

アクションの詳しい内容です。(20)

21  
NGO法人ACEはガーナのカカオ農場の  
児童労働者を守る活動をしている...

ガーナ産のチョコを食べる  
↓  
ガーナでの児童労働の過酷さをまとめた  
ドキュメンタリー映像を観る  
↓  
再びガーナ産のチョコを食べる

私たちが参考にしたのはNGO法人ACEが行っている活動です。彼らはガーナのカカオ農場の児童労働者を守る活動をしています。ガーナはカカオの生産が盛んで、日本にもたくさん輸出されています。しかし、カカオ農場では多くの児童労働者たちが学校にも行けず安い賃金で働かされています。その現状を多くの人に知ってもらうため、ドキュメンタリー映画「バレンタイン一揆」を作成しました。映画を観る前と観た後にチョコレートを食べてもらって、味がどのように変化したのか、また子どもたちの生活を守るフェアトレードの重要性などを考え直してもらいました。(21)

22  
「体験」  
「感動」  
を同時に提供して  
心を深く揺さぶる

以上のような活動は、ただ話を聞くだけ、観るだけではなく、体験と感動を同時に与えることで人の心をより深く揺さぶることができます。(22)

23  
青森県内のりんご農家の苦労や、  
りんご作りに対する情熱を  
ドキュメンタリー風にまとめた映像を見る  
+  
県産りんごを食べてもらう

りんご農家の苦労やありがたみを感じる  
地元のものに誇りを持つ

↓  
成功

最初に見てもらった映像は、これを実際に実践したものです。おそらく、ただアップルパイだけを見ても心に残るものは何もなくあっただけでしょう。しかし、この動画を見てもらうことによって、何らかの感想を持っていただき、心に残るものがあつたと思います。そこで、その効果を青森県産品のPRに用いることができると考えました。

例えば、りんごを具体例に考えます。まずりんご農家の苦労や努力、情熱をまとめたドキュメンタリー映像を作ります。そしてこの映像を見てもらうのですが、その時、実際に作ったりんごも一緒に食べてもらいます。これにより、りんご農家の苦労やありがたみを一緒に感じ、県産品に誇りを持ってもらうことができると考えました。(23)

24  
りんごでなくてもできる  
長いもでも、にんにくでも・・・

体験と感動を同時に味わうことで、  
より深い理解・共感を得られる！

これはりんごでなくても行うことができます。例えば長いもやにんにくなど、あらゆる特産品でも行うことができます。また、今現在、特産品でなくても、これから伸ばしていきたい県産品のPRにも利用することができます。(24)

25

どこでどうやる？

具体的にどのようなことを行えばより効果が出るか、考えてみました。(25)

26

学校での授業や総合学習の一環として

「地域を学ぶ講演会」

「地域理解のための勉強会」

として実施する。

私たちは学校で講演会や勉強会として実施するのが効果的だと考えました。中高生のうちに県産品への愛着を強めておけば、県外へ進学、就職したとしても県産品を選んでもらえると考えたからです。しかし、学校に限らず大人の方々の集まりでも実施は可能だと思いますし、子ども会のイベントとしても実施は可能だと思います。(26)

27

5 アクションパートナー

次に、このアクションを行う上で協力をお願いしたいパートナーも考えてみました。(27)

28

①一次産業に従事している方々

②県内各学校

③映像制作会社

まず映像の主役となる農家や漁師の方々の協力です。インタビューに答えてもらったり、仕事の様子取材させてもらったりします。

次に県内の学校です。授業時間をある程度確保したい進学校での実施は難しいかもしれません。

最後に映像制作会社です。ドキュメンタリー映像は、ある一定のクオリティがなければ共感は難しいと思います。そこで、ここはプロの手を借りて制作する必要があると考えました。(28)

## 6 高校生の役割

続いて私たち高校生の役割です。(29)

- ① 映像制作の補助
- ② PR活動
  - ・SNS等を用いて予告編の公開
- ③ 講演会のボランティア

まず始めに映像制作に対する補助です。例えばインタビュアー役として映像に出演をしたり、私たち高校生が一次産業について調べたことを映像制作会社に提案したりすることはできると思います。

次に、この活動のPRです。SNS等のネットワークを利用し、予告編やメイキング映像などを公開することによって、この活動の認知度を高めることができると思います。

そして、この活動を実際に講演会として実施する際のボランティア活動もできると思います。中学校で講演会をする時のボランティアです。平日であれば難しいかもしれませんが、土日であれば可能であると思います。(30)

## 7 問題点とその解決法

アクションを実行するためには問題点も発生します。(31)

- ① 必要な費用がどの程度か、高校生には想像もできない...
  - ・映像制作費など...
- ② 一次産業従事者の協力が得られるか
- ③ 食品の無料提供

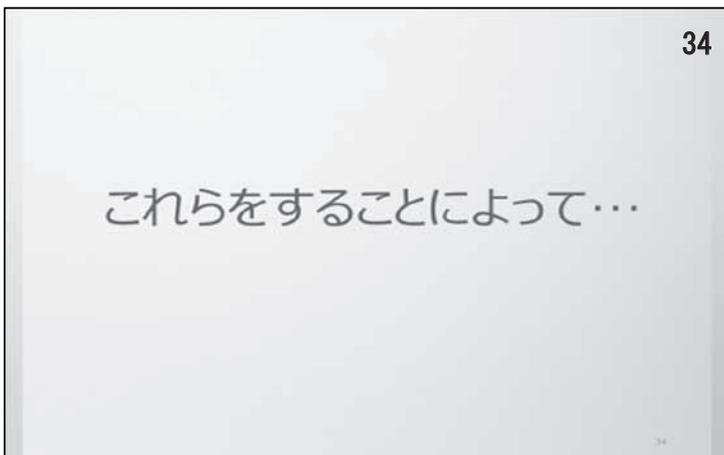
まず費用面です。映像制作費や実際に講演会を行うための費用、特産品を配布するための費用など、ある程度まとまった費用が必要であり、それがいくらくらいになるのか、私たちにも想像が付きません。おそらくたくさん必要だと考えます。

次に一次産業従事者の協力が得られるかということです。時間と手間をとってもらうことになりますから、負担が大きくなることでしょう。

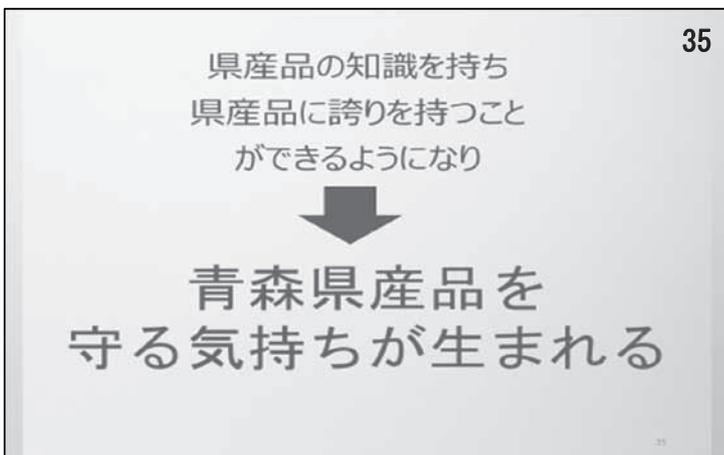
最後に食品の無料提供について、衛生上可能なものかどうか、手間をいかに省くかなどの問題があります。(32)



最後にまとめです。(33)



今まで説明したアクションにより、繰り返しになりますが、一次産業従事者や青森県産品について知り、誇りを持つことがこのアクションの目的です。まずは県内でアクションを行い、将来的には県外、海外の活動でも用いることができればさらなるPRにつながると思います。(34) (35)



## 【質 疑】

●<sup>やまぐち</sup>山口 <sup>たきじ</sup>多喜二議員（自由民主党）

（山口議員）

それではさっそく1つ目の質問をします。高校生向けの一次産業のPRアクションをご提案をいただきましたが、この提案をしようとお考えになった背景について、詳しくお伺いをいたします。

（回答）

お答えします。私たちがこのアクションを考える上で、様々な地域や職業の方々とワークショップを行った時に、青森に誇れるものを聞いたら、「美味しいものがたくさんある」ということだったので、一次産業をPRすればいいんじゃないかなと思いました。

（山口議員）

素晴らしいご提案をいただいたわけですが、ぜひ、このことが現実になるように、しっかりと研究をしていただきたいと、そういうふうに思っております。

それでは2つ目の質問に入りますが、提案を実現するために行政機関や県内各高校等の協力をお願いしたいとのことでしたが、どういった役割を期待しているのか、お伺いをいたします。

（回答）

お答えします。行政機関は資金の援助や組織化の役割をお願いしたいと思います。また、学校等は、活動を行う場所としての役割を考えております。

（山口議員）

先ほどからこのPRアクションを拝見しておりますけれども、素晴らしいなど、そういうふうに思っております。ぜひ、皆さんの力でこの素晴らしい青森県を、3方を海に囲まれて、海の幸も山の幸も素晴らしい、景色もいい、この素晴らしい青森県をもっともっと活性化させて、次世代にしっかりと受け継いでいただきたい。こういうふうにお願いを申し上げて、期待を申し上げて、質問を終わります。

（松田議員）

先ほどは美味しいアップルパイまでいただきましてありがとうございます。

私の方から2点、質問させていただきたいと思います。予めいただいた提案の文章の中には、海外向けのPRについても触れていると思います。海外派遣だとか、受け入れの際に実施していきたいというふうに述べておりますけれども、具体的にはどういった場面で実施することを考えていらっしゃるのか、お伺いします。

（回答）

お答えします。海外派遣の際は、青森県産品とビデオを持って、海外派遣に行った際に自分の街の魅力を広めることができると思います。また受け入れの際は、青森県産品とビデオを用意して、自分の住む街の魅力を同じようにPRすることができると思います。

（松田議員）

もう1つ、高校生の立場からの役割として、映像制作会社の方々の取材について、高校生の視点から話を聞かせてもらうというふうに述べておりますけれども、実際に皆さんが取材に行くとした場合、一次産業の方々からどういったお話を聞きたいと考えていらっしゃるのか、お伺いします。

（回答）

お答えします。私たちは1日のスケジュールや年取、やりがいなどをインタビューしたいと思っています。

（松田議員）

今日は発表の中で、青森県のりんごのお話が出ておりましたけれども、単にりんごを販売するというだけじゃなくて、その生産者のご苦労や情熱というものも伝えていきたいと、そういう皆さんのお気持ちが伝わってきて、大変嬉しく思いました。

いろんな場面を通じて、青森県民としての誇りをぜひ培って、将来に大きく羽ばたいていただきたいということを要望して終わります。